

かなぶんキッズクラブ 特別企画



長崎源之助生誕100年記念の集い

児童文学者の長崎源之助（1924～2011）は、横浜市の井土ヶ谷で生まれ育ちました。時代に翻弄されつつも懸命に生きる庶民や、生き生きと遊び回る子どもたちの姿を描き、平和の大切さ、いのちの尊さを伝える作品を数多く残しています。

1970年（昭和45）、出版社などから贈られた本を子どもたちにも読んでもらおうと、自宅の一部を開放して「豆の木文庫」をオープン。文庫を「本のある遊び場」ととらえ、読書会、読み聞かせのほかにも「本を読んだり遊んだり」「子ども市」などの行事を活発に行いました。文庫開設当時は、市立図書館が一つしかなかったこともあり、多い日には500人以上が訪れる、子どもたちの楽しみの空間でした。

文庫の公開は2006年（平成18）に終了しましたが、長崎源之助の生誕100年を記念して、「豆の木文庫」のメンバーが再集結。かなぶんキッズクラブの「絵本であそぼ!」「紙芝居がはじまるよ!」「子ども映画会」3つのイベントを合体する特別企画で、長崎作品の魅力をお届けします。



「豆の木文庫」で子どもたちと

日時

2024年2月18日（日） 10:30から（開場10:00）

*休憩をいれて約1時間半です

会場：神奈川近代文学館 展示館2階ホール（定員200名）

主催：神奈川近代文学館、（公財）神奈川文学振興会 共催・出演：豆の木文庫

第1部 豆の木文庫げきじょう

◎プログラムは変更になる場合があります。

お話 長崎源之助について

ブックトーク 作品紹介 「つりばしわたれ」「ままはあわてんぼ」ほか
大型紙芝居「えんぴつびな」



<休憩>

第2部 映画「ひろしまのエノキ」（アニメーション 16mm 24分）

被爆したエノキの木が身近にあったことを知り、そのエノキを守る活動をはじめた小学生たちの姿を描く。

原作：長崎源之助 作、二俣英五郎 絵『ひろしまのエノキ』（1988年 童心社）

にゅうじょう むりょう
入場無料

対象：幼児～小学生とその保護者
（未就学児は要保護者同伴）



電話（045-622-6666）またはホームページの申込フォーム（右のQRコード）で、代表者氏名・参加人数・電話番号をお知らせください。先着順で定員になり次第受付を終了します。



*中学生以上、大人だけの参加も可能です

*おむつ替えシート、授乳スペースあります。

*展示館2階ロビーに自動販売機がありますが、ごみはお持ち帰りください。

横浜・山手 港の見える丘公園

県立神奈川近代文学館

〒231-0862 横浜市中区山手町110

TEL045-622-6666 <https://www.kanabun.or.jp>

ACCESS

*駐車場がありませんので、公共の交通機関等をご利用ください。

〈東急東横線直通・みなとみらい線〉元町・中華街駅下車
6番出口（アメリカ山公園口）から徒歩10分

〈バス〉いずれも「港の見える丘公園前」下車、徒歩3分

・神奈川中央交通バス①系：桜木町駅～保土ヶ谷駅

・横浜市営バス②系：桜木町駅～山手駅

・観光スポット周遊バス「あかいくつ」

〈JR根岸線〉石川町駅下車 元町口（南口）から徒歩20分

